

令和7年度 第2回 スポーツ推進審議会 議事要旨

日 時	令和7年11月5日（水）13：45～15：15
場 所	中町庁舎 6階 62号室
参 集 者	委 員／中條 康右、齋藤 隆、堀 俊一、齋藤 勉、小林 伸、大滝 美樹、穂積 祥、伊藤 真実、佐藤 寿実子 欠 席／三浦 修一 酒田市／赤坂教育長、堀賀教育次長 スポーツ振興課：樋渡課長、中山課長補佐、高橋主査兼係長、乙坂主査兼係長 財政課：成澤主査兼係長
配布資料	資料 1 令和7年度スポーツ振興課事業の実施状況について 資料 2 令和7年度の事業進捗状況 及び令和8年度の予算要求に向けて 別添資料 酒田市スポーツ推進計画の中間見直しについて 当日配布 酒田市体育施設整備方針の中間見直しについて

1. 開会（事務局）

【会議の成立について報告】

- ・「酒田市スポーツ推進審議会に関する条例」第6条第1項により、審議会は、委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会については、委員総数10名のうち、出席者9名となっており、審議会が成立していることを報告する。

【佐藤寿実子委員 自己紹介】

2. あいさつ（教育長）

- ・本市では、先月19日に「第14回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」が開催された。今大会からハーフ及び10キロの部では出羽大橋を渡る新たなコースに変更した。また、5キロの部を新設して市民が、より参加しやすい大会へと一新し、全国各地から1,678名のエントリーをいただいた。来年度は、さらに多くの方に参加いただける大会となるよう、内容をブラッシュアップしたい。
- ・今月15日（土）から26日（水）までの12日間の日程で、いよいよ東京2025デフリンピックが開幕する。この大会は、1924年に第1回大会がパリで開催されて以来、100周年となる。本市からは選手として、齋藤京香さん、齋藤丞さん、齋藤心温さんが出場する。市役所1階に応援パネルを設置しているので、委員の皆様には是非ご覧いただき、選手を応援していただきたい。
- ・相撲界においては、怪我により幕下に番付を落としていた北の若関が、9月場所で5勝2敗と勝ち越しを決め、十両に返り咲いた。厳しい取り組みが予想されるが、市民に元気をもたらす相撲で再入幕を目指してほしい。
- ・本日の審議会では、令和7年度前半のスポーツ事業をはじめ、令和8年度予算要求についての考え方についてご協議いただく。また、後段では、酒田市スポーツ推進計画の中間見直しについてご協議いただく。委員の皆様からは、それぞれの立場でのご意見を頂戴したい。

3. 協議（進行：会長）

【審議会の進め方について】（事務局説明）

- ・はじめに（1）令和7年度スポーツ振興課事業の実施状況について説明させていただく。
- ・続いて、（2）令和7年度の事業進捗状況及び令和8年度の予算要求に向けての事務局の考え方を説明する。
- ・説明については、IからIVまでの基本目標ごとに、資料は2-1から2-4までを区切って進めさせていただく。
- ・次に（3）酒田市スポーツ推進計画の中間見直し原案に対しての意見をいただきたい。
- ・ご意見、質疑等については、その都度お願いしたい。

（1）令和7年度スポーツ振興課事業の実施状況について **資料1**（事務局説明）

【質疑応答】

○委員

B&Gヨットカヌー場には、1人乗りや2人乗りのボートは何艇くらいあるのか。

⇒事務局

手元に資料がないので後ほど回答する。

○委員

カヌーの国体等で活躍した選手が、結婚を機に酒田市にいる。B&Gの関係もあるかと思うので、何かお手伝いできることがないか検討いただきたい。せっかく素晴らしい指導力を持っている方なので、活用という点でどうか。

⇒事務局

B&G事業の育成士会という会があり、皆さんはそれぞれ資格を持って指導にあたっているので、ぜひ今お話をいたいた選手からも、その会に加入していただければありがたいと思う。ぜひ声掛けをさせていただければと思う。

（2）令和7年度の事業進捗状況及び令和8年度の予算要求に向けて

＜基本目標I＞誰もが楽しめる生涯スポーツの推進 **資料2-1**（事務局説明）

⇒事務局補足

先ほど委員から話があったB&Gヨットカヌー場の1人乗りや2人乗りのボートの数だが、1人乗りが13艇、2人乗りが2艇ある状況である。

それから、先ほど事務局から説明があったラン&ウォークの関係で、この事業がスタートした2021年のときはこのアプリ登録者数は80人くらいだったが、現在536人の登録がある。このアプリを運営している民間企業からは、市内人口の5%程度の登録だと全国的にも上位という話があった。1,000人くらいは登録してもらいたいと思っている。委員の皆様の中で登録されてない方がいたら、無料という事があるので、ぜひこの機会に登録していただきたい。

【質疑応答】

○委員

子どものスポーツ活動の推進の部分で、寒河江市で開催していたマルチスポーツという

ものをテレビで見たが、知っているか。30種目を体験させる内容のようで、日本マルチスポーツ協会という組織があるようだ。酒田市でもやっているのを知り、びっくりした。県内では10市町でやっていた。パルクールというのは今非常に人気があるようである。子どもを運動が嫌いか好きかという二極化で分けるのは、運動するかしないかという結果だと言われている。そういう意味でこのマルチスポーツを体験させると運動が好きになるのではないかと思った。

⇒事務局

今年のスポーツフェスティバルの中で、そのマルチスポーツをやっている団体にパルクールを含めた運動遊び教室を委託して実施した。100人以上の子ども達が体験してくれた。個別予算ではなく、全体総予算の50万円の中でやったところである。

○委員

以前は市民体育祭があり、その代わりにスポーツフェスティバルという形に変えて7月の第1日曜日にやっているもの。今年やっと参加人数が1,000人を超えた。スポーツ協会からはタグラグビーや卓球などの種目体験教室をやってもらった。また、防災ブースを設けて、新聞紙でスリッパを作ったり、毛布で担架を作ったりと、毎年、内容を見直して取り組んでいる。

○委員

子どものスポーツ活動の推進という意味では、鬼ごっことスポーツ能力測定会のことは書かれているが、そのパルクール教室のことも記載しても良いのではないかと感じた。そういうものを体験させるということが大事だと思ったところである。

⇒事務局

今の話の中で、子どもの遊び場ということで市長も屋内遊具施設の話などがあつて、今年度のスポーツフェスティバルが終わった時点で、実は保育子ども園課へ総合文化センターの体育室を使って、パルクール教室などの委託事業ができないかということは投げかけている。また、光ヶ丘のフィールドアスレチックもパルクールのような形で何かイベントができるのか、課内でももんじるところである。新たな事業ということでは、来年度の予算要求はまだできていないが、子どもの遊び場の部分では検討中である。

＜基本目標Ⅱ＞感動と活力に満ちた競技スポーツの推進 **資料2-2** (事務局説明)

【質疑応答】 特になし

＜基本目標Ⅲ＞スポーツによる賑わいとまちづくりの推進 **資料2-3** (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

つや姫マラソンに関しては5kmの部ができたことで、初めて参加したという方がいる。幼稚園の保護者なども参加したようで、お父さんの走る姿を見て、来年はお母さんもとか、子どもも一緒に走りたいというような、以前みたいに少しづつ参加する層が広がっていくのかなと実感できた。

質問だが、マラソン大会を開くにあたっては、かなりのボランティアの人数が必要だと思

うが、酒田市スポーツボランティア会などもあるようだが、その育成に関してとか、どんな感じで募集しているのか。広報とかに出ていると思うが、組織の内容を少し説明していただきたい。

⇒事務局

スポーツボランティア会については、事務局をしていただいている方が2人いて、長年スポーツ推進委員として関わってきた方である。スポーツ推進委員というのは市教育委員会から委嘱を受けている方である。地区の体育・スポーツ振興会からの推薦で、コミュニティ振興会単位で3名程度推薦・委嘱されている。現在、酒田市には80人のスポーツ推進委員がいる。3名の構成では、できれば女性を1人入れてほしいとか、年配の方、働き盛りとか中堅で若い方というようなことで各地区に推薦をお願いしている。その中で、辞められた方を中心にスポーツボランティア会を組織していただいている。会長は八幡地域の方で、元スポーツ推進委員会副会長を務められた方である。その方をトップにスポーツ推進委員だけではなく、一般の方も会員として加入している。会員は20数名いて、市の様々なイベント時にスポーツボランティア会を通じて協力をいただく流れである。この会に入りたいということであれば会費などないので、ぜひ声掛けをしていただきたいと思う。加入となれば、スポーツ振興課へ問い合わせいただきたい。

○委員

つや姫ハーフマラソン関連で、県外から4割程度の参加者ということだったが、市内に宿泊しているかなど、その辺の把握をしているのか。また、大きい事業については、よく経済効果はこのぐらいあると発表したりするが、数値など出しているものか。

⇒事務局

宿泊はしていると思うが、マラソン大会でも走ってすぐ帰られる方とか、車に泊まる方とかいると思う。アンケートは毎大会取ってはいるが、資料がないので、お答えできず申し訳ない。市内での一定程度の宿泊者はいるかと思う。

○委員

以前あったメロリンピックというマラソン大会に私も携わって参加者の話を聞いたときがあったが、参加者同士で県とか全然関係なく、「この次にどこの大会にエントリーする?」「私はこの大会にエントリーしたよ。」とか話をしていた。同じ仲間の中であちこち渡り歩いている方もいるようだった。

○委員

宿泊するとしても近県の方だと思う。ランナーは走る5時間前には起床すると聞く。9時スタートだと4時くらいに起きればいいので、秋田とか宮城とか福島あたりだと泊まらずに、その日の朝に来たり、あるいは車中泊したりする感じだと思う。

○委員

市内のラーメン屋も大会当日より前日の方が賑わっていたと言っていた。

⇒事務局

申し訳ないが、経済効果の計算はしていない。それも含めて、どのくらい宿泊費に掛けているか、アンケート調査をしている。

○委員

以前、つや姫マラソン大会で前夜祭をやっていたようだが。

⇒事務局

以前は前夜祭をやっていたが、100人くらい参加者は集まつたが、ほぼランナーは来ない。商工会議所青年部主催でやっていた経緯はあるが、実際走られる方の参加は10人程度。他は、ゲストランナーと運営側の関係者で80人ぐらいだった。

○委員

今回のマラソン大会では、クマ対策などしたものが。天童などの他の大会では花火を上げたり、音楽を流したりと何かしら対策をしているようである。至るところに出没してくる。今回特に何もしていないのであれば良い。

○委員

宮海や宮野浦とかにも出没しているので、来年は何かしらの対策が必要だと思う。

＜基本目標IV＞安全安心なスポーツ環境の整備 **資料2-4** (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

施設予約システムについて、これは山形県で今、システム化しているものを、酒田市も一緒に使うという認識で合っているか。

⇒事務局

山形県が50%、残りの50%を市町村が分担して共同で調達している施設予約システムである。

やまがたe申請とかとは違うもので、共同開発して使用するものである。令和9年度から実施予定である。

資料2-1のところで、まだ採択になってないためこの資料には記載していないが、来年度、野球場の人工芝の完成記念事業としてドリームベースボールというものを予定している。平成19年頃に一度酒田でやっている。プロ野球を引退した選手が20人ほど来て、野球クリニック、指導者講習会、講演会、ドリームマッチとして地元の社会人チームと試合をするという内容で2日間にわたって行われる事業である。申請段階では、6月、9月、10月など第1希望から第3希望まで出しておらず、来月12月に採択なるかならないかが決まる。3回目の審議会のときには、詳細について説明できると思う。酒田市の予算要求額としては30万円ほどで、スポーツ少年団本部からの40万円と合わせて70万円の事業になる。それ以外に総務省のほうから1,700万円ほどの助成金をいただいての事業になる。採択が決定された際には、スタンドはきれいにはしていないが、一応1万人入る球場になっているので、皆さんもご覧いただければと思う。

(3) 酒田市スポーツ推進計画の中間見直しについて 別添資料 (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

表紙の部分、第2期酒田市スポーツ推進計画と表示したらどうか。山形県も第2期山形県スポーツ推進計画とうたっているので、中間見直しという表示ではなく、はっきり第2期のスポーツ推進計画だということにしてはどうか。また、「魅力あるまちづくりを推進します」とうたった方が、非常にソフトに感じる。

3ページの2・3行目「本計画では、「運動」とは体を動かす活動全般を指し、内容をより適切に表す必要のある場合は「運動」と表記します。」とある。2・3回読んでも分からぬ。

⇒事務局

これは、確かに運動にeスポーツを入れないための表記の仕方だったかと記憶している。

○委員

説明いただいたが、少し読み取れない感じがする。

あと、8ページに体育施設とあるが、私は学校の体育館とかは体育施設だと思う。ここに記載あるものは、私はスポーツ施設だと思う。その呼び方の方が市民権を得ているのではないかと思う。体育協会もスポーツ協会に変わったので、この酒田の施設整備方針、これも酒田市スポーツ施設ではないのかなと思う。これは意見。私は市民の皆さんの大半は、スポーツ施設と言った方がすんなり入るのかと思う。

⇒事務局

私もそのように考えるが、体育施設設置管理条例上その名称になっているので、条例の改正が必要になってくる。条例をどう変えていくかに繋がってくる。

○委員

それから4ページの20行目に、施設整備方針にも関わることだが、「SDGs」と「持続可能な施設」という文言もどこかに入れる必要があるのではないか。意見として申し上げる。

基本目標等にも関係するが、15ページのトップアスリートの育成強化のところでは、トップアスリートの市内の定着、極端に言ったらトップで活躍した人を市役所で採用する。酒田飽海チームが県縦断駅伝で強いときには、市職員として採用されて、その方々が大いに活躍した時代があったのかと思う。そういうことを考えると、競技力の向上等も含めながら、やっぱりトップで活躍したアスリートについては、やっぱり酒田市も含めて、企業への働きかけが必要だと思うが、市内の定着、こういった考え方を入れたらどうかという意見である。

それから、我が街のスポーツを育てる必要がある。スポーツ協会も関わってくるが、谷地であればカヌー。頑張れば、県もお金を出してくれる。酒田で言うとボートが頑張ってくれれば、県でも予算化すると思う。酒田はボートが一番やれる環境。海があるということは資源。そのように考えて思ったところである。

それから最後はクマの出没対応。今週末に開催される東北高校駅伝大会に、福島県の高校が参加しないという新聞報道を見てびっくりした。熱中症が全国的に広まったときには熱中症のことはうたっていると思う。この計画の中にも入っていたと思う。他の県では駅伝大会のクマ対応があるわけだから、クマについても計画の中に入れてもいいのかなと。これも意見である。

○委員

令和5年11月に開催された「全国学校体育研究大会～山形大会」では、山形県スポーツ推進計画で「する・みる・ささえる・しる」の視点で協議されていた。1回目の審議会でも委員から質問が出ていたが、「しる」観点も必要だと感じる。今、モルックなど以前は馴染みのなかった競技も昨今話題になってきており、その「しる」という言葉には色々な意味が含まれていていいかなと思った。「しる」というのは年齢や立場とか状況に関わらない概念で、生涯にわたってスポーツに関心を持ち、楽しもうとするきっかけにもなるように感じた。

酒田市体育施設整備方針の中にも、最初の方針策定の趣旨というところに、多くの市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形といったことがあるので、酒田市のこのスポーツ推進計画の中には、「する」「みる」「ささえる」の他に「しる」が含まれたものなのかなと思ったところである。

あとは14ページに女性の活躍推進・ジェンダー平等の実現という箇所があった。スポーツがしやすい環境の整備はとても心強いことだと思ったが、女性だけじゃなく、ジェンダーという考え方やその個々の抱える問題状況によって、誰もが相談できる窓口であれば良いと思った。これも感想だが、あえて女性とつけることが今後どうなんだろうと思った。

アスリートを育成するとかでも、普段の部活動がなくなってしまった居場所作りはどうなるのだろうと話題になっているときに、部活動においての地域移行・地域展開には格差や様々な課題があり、その対策を模索している段階だが、誰もが平等にスポーツの機会を得られるのは、運動とかスポーツその概念はいろいろあるが、体を動かす機会を得られるのはやっぱり今のところ学校の授業しかないのかなと最近思っていた。たとえ短い時間でも「スポーツ鬼ごっこ」とか、以前取り組んでいた「もっと遊べ酒田の子ども」のプログラムで園児指導を通じて色々工夫してくださったように、授業の中で組み込むものがあったり、中学校、高校でも部活動とは違う教育の一環としての指導要領に基づいた内容充実の工夫を図ったりしながら、自ら健康な身体を作ろうとし、スポーツを楽しむような子ども達を育めるよう、地域や学校とか、様々な関係団体と協力し合って生涯スポーツについて考えていかなければならぬと、今実感しているところである。

それから、「ICTの活用」というのが、段々こういった計画の中にも占めてくる部分が今後大きくなるのかと思ったところである。

○委員

私もまず表紙の「する」「みる」「ささえる」と見た瞬間に、2019年3月に策定した当時は「ささえる」までだったと思うが、今現在、「しる」が結構な頻度で出てきている。中間計画として見直すのであれば、今後のことを考えて「しる」を付け加えておいた方が良いのではないかという意見である。

⇒事務局

本日皆様からいただいた意見を内部で検討させていただき、後日フィードバックをさせていただきたいと思う。加えて、反映できるものは、今後作成する修正案へ持っていくと思う。

○委員

まずは内部で検討していただいて、例えばここに出すとしたら、資料だけを送付して委員の皆さんからまた意見をもらう形にするのか。

⇒事務局

とりあえずは修正案をすぐに作らないといけないので、それに合わせて本日いただいた意見への対応というものをを作る。この後にパブリックコメントを予定しており、市民の皆さんから意見を聞く機会がある。

○委員

計画見直しのために、改めて集まって会議を開くのではなく、修正案ができたら皆さんに送付する形ではどうか。

⇒事務局

そのような形で進めてさせていただく。

○委員

例えば「検討する」と「検討する必要がある」というのはどこが違うのか。「推進する」というのは良いが、「検討する」ということは実施しないんだなと思ってしまう。事情は分かるが、言葉尻をある程度しっかりとしておかないといけないと思った。

⇒事務局

このスポーツ推進計画の上位に教育振興基本計画があるが、スポーツ推進計画自体がアクションプラン的なものなので、逆に言えば簡単に直せるものである。その辺は上位計画との整合を図りながら直していきたいと思う。先ほど説明したスケジュールにある流れで今後進めさせていただくのでよろしくお願いしたい。

4. その他

＜酒田市体育施設整備方針の中間見直しについて【当日配布資料】＞

※酒田市体育施設整備方針については、公開することで審議を妨げる恐れがあることから、資料及び議事内容を非公開とする。

5. 閉会（事務局）

以上